



広報びふか別冊

「今年のまちの仕事」

令和8年度 町政執行方針・主な事業概要

令和8年度の美深町の予算内容を町民の皆さんにお知らせするため、町政執行方針と主な事業の概要についてまとめました。広報2、3ページと併せてご覧ください。

町政執行方針



【はじめに】

町政運営を担ってから早いもので3年が経過しようとしています。この間、まちづくり懇談会や各自治会のイベントなど、広く町民の皆さまからの声を聴き、更には町議会からも政策提言をいただきながら、美深町が抱える諸課題の解決に向けて、各種施策に取り組んできました。引き続き、限られた資源を最大限有効に活用して「住み続けたい」と思ってもらえる美深を目指して取り組む所存です。

昨年は、国鉄美幸線廃止40周年の節目の年を迎え、記念フェスタや博物館特別展が開催されたほか、懸案事項でありました町民体育館の改修工事に着手することができ、令和9年2月の完成に向けて順調に工事が進んでいます。

また、日本人選手が大活躍した第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）のフリースタイル競技エアリアル種目に地元エアリアルチーム所属・出身の選手2人が日本代表として初出場を果たし、世界最高峰のステージに立ったことは地域の誇りであり、多くの町民に夢と感動を与えてくれました。

全国の自治体では、少子高齢化や人口減少が進行し、地域担い手の確保、医療福祉や公共交通の維持など、数多くの困難な課題を抱えています。持続可能なまちづくりを目指し地域の特性を最大限に活かした取り組みを推進していきます。美深町においても町民の皆さま、議会議員各位の知恵とご協

力をいたしながら、第6次美深町総合計画「未来へ続く 笑顔あふれるまち 美深」の実現に向け、取り組みを着実に推進します。

令和8年度は、大型事業の実施に伴い支出が増大することから、予算編成では財源の確保と効果的な事業実施に向けて各部署と十分に議論を重ねてきました。

令和8年度予算の歳入は、町税は前年度対比0.5%の増、地方交付税は人件費の上昇や物価高騰などの影響を考慮し、前年度対比3.3%の増を見込んでいます。

歳出は、物価高騰と人件費の上昇が経常経費を押し上げる中、一般廃棄物中間処理施設の建設や、町民体育館の改修、特別養護老人ホーム移転改築など複数の大型事業により多額の財源が必要な状況となっています。

こうした厳しい財政運営が求められる中でも、行政サービスを維持し、安全安心なまち、誰もが安心して笑顔で快適に暮らすことのできる「優しいまち」を目指して、全力で取り組みます。

令和8年度の各会計の予算額は
一般会計

72億8千900万円

国民健康保険特別会計

5億5千510万円

後期高齢者医療保険特別会計

1億70万円

介護保険特別会計

6億1千190万円

簡易水道事業会計

2億3千495万8千円

下水道事業会計

3億4千61万8千円

6会計の当初予算総額は91億3千227万6千円となり、令和7年度当初予算と対比して14.1%の増となりました。

以下、第6次美深町総合計画に掲げる5つのまちづくりの目標に沿って、町政執行の考え方を説明します。



環境保全・環境衛生の推進

美しい自然環境の保全と快適で住みよい環境づくりを目指し、環境と調和した循環型社会の形成とゼロカーボンの推進に取り組みます。

有害鳥獣対策では、鳥獣被害対策実施隊と連携した取り組みを実施するとともに、新たに「カラス捕獲用はこわな」を整備します。さらに、電気柵整備事業やアライグマ捕獲用トラップ購入支援事業を継続するほか、駆除従事者の育成を支援します。

ごみ処理関係は、ごみの減量・減容化を進めるため「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」運動を引き続き推進します。また、令和9年度の供用開始に向けて建設中の一般廃棄物中間処理施設「エコスピカ」は、名寄地区衛生施設事務組合構成市町村と連携して推進し、分別区分や手数料の変

更などの情報を随時周知します。

空き家対策では、空き家を発生させないための意識高揚・知識向上を図るセミナーの開催や再利用・解体に対する支援を引き続き実施します。また、危険家屋対策として国の補助事業を活用した建物除去事業を進めるため、計画の策定や協議会の設置などを進めます。

《簡易水道事業会計》

中央簡易水道配水管更新工事および実施設計業務のほか、更新期を迎える量水器の取替工事、計画的な消火栓の更新工事などを実施します。

給水戸数の減少などにより給水収益は減少傾向ですが、経常経費の節減と施設の保守管理に努め、安定した水の供給に努めます。

《下水道事業会計》

ストックマネジメント計画に基づく浄水管理センター内の機械設備などの改修工事を実施します。

経常経費の節減に努めるとともに、公共下水道施設、個別排水処理施設の維持管理業務委託を継続し、環境・公衆衛生の維持に努めます。

交通網等の整備

道路・交通網は、住民の生活や産業経済活動を支え、地域間交流を促進する重要な基盤です。

町道の円滑な交通と安全性の向上を図るため、橋りょう長寿命化事業および路面・区画線の補修を行うとともに、北4丁目道路などの道路施設整備を実施します。除排雪は、民間委託を継続し、冬期間の交通網の確保と地域経済の活性化を図ります。また、除雪体制を万全に維持するため、経年劣化が進む除雪トラックを更新します。

公共交通機関は、高齢者や学生などにとって必要不可欠な移動手段であることから、仁宇布線デマンドバス、恩根内線路線バス、市街地フレンドバス、デマンド型乗合タクシーが安定的に運行できるよう交通体制の確保に努めます。

鉄道に関する課題では、引き続き関係団体や沿線自治体と連携しながら、鉄道路線の維持に向けた取り組みを展開します。

住宅の整備

長寿命化計画に基づく新ひまわり団地公営住宅改修工事を実施するほか、適正な維持管理を継続し、

安全・安心な住環境の維持に努めます。

土地の有効利用

自然環境と調和した町並みの保全、公園や緑地・街路樹の適切な維持管理に努め、快適で機能性の高い市街地環境を推進します。

また、新たにふれあい公園に木製遊具を設置し、子どもたちの遊び場や世代を超えた交流による地域コミュニティの活性化を図るとともに、トイレを改修し利用者の快適性と利便性が向上するように、都市公園機能の充実を推進します。

消防体制の充実

全国で頻発する山火事や地震などの自然災害に備え、消防・救急体制の確立に努めるとともに、消防施設や資機材の更新整備を計画に行います。

消防団の装備や訓練の充実を図り、担い手を育成するため幅広い世代に入団を促し、活気ある消防団を目指すとともに、消防団のポンプ車を更新します。

引き続き住宅用火災警報器の設置更新を周知するとともに、各学校や事業所などでの避難訓練、イベントを通じて、幼児から高齢者

まで幅広い年齢層への防火啓発活動を展開します。

救急業務の高度化に対応するため、病院実習での確かな応急処置能力の向上を図り円滑な救急活動が行えるよう取り組みます。

防災体制の充実

災害時に住民の生命や財産を守るため、防災資機材や災害用備蓄品を整備し、美深町地域防災計画に基づき防災意識の向上や防災知識の普及に努めます。

また、各自治会の自主防災組織とも連携して、住民参加型の実践的な防災訓練や避難・被害状況の早期把握、気象情報などの情報収集、災害情報の伝達など、防災体制の強化に努めます。

交通安全・防犯対策の推進

各種交通安全集会などを通じて交通安全意識の向上を図れるよう、関係機関と連携した取り組みを推進します。また、美深町地域安全推進協議会による運転免許返納支援事業を通じて、運転が不安な高齢者ドライバーなどの運転免許返納のきっかけづくりに取り組みます。

近年急増する特殊詐欺などの防

犯対策については、関係機関と連携し広報・啓発活動を続け、意識の向上に努めます。

情報化の推進

情報基盤施設を適切に管理し、防災情報端末機や防災情報アプリを活用した災害時の情報伝達体制を確保するとともに、平常時には暮らしに役立つさまざまな情報を提供することで、生活の質の向上と地域経済の活性化を図ります。

各種情報を安全かつ円滑に提供するため、情報セキュリティ対策を徹底し、個人情報保護に努めます。

また、デジタル化の推進については、住民サービスの向上と業務の効率化を図るためのシステムの導入を検討します。

消費生活対策の推進

近年、多様化・巧妙化する特殊詐欺や悪質な訪問販売から消費者を守るため、防災情報端末機や広報誌を活用して情報提供するとともに、消費生活相談事業の利用促進を図ります。



農業の振興

農業を取り巻く情勢は、経営者の高齢化や担い手の減少に加え、飼料、肥料、燃料などの農業資材価格の高止まりや地球温暖化による食料生産の不安定化など、めまぐるしく変化しています。

将来にわたって美深の農業が持続的に発展できるように、これまでの継続事業に加え、新たに南瓜輪作支援事業やフルーッとマト糖度センサー更新事業などに取り組み、個別の課題に対応した諸施策を推進します。

《担い手の育成確保》

新規就農希望者の受入れや農業後継者への支援、農業経営継承組織の活動に対し、国や北海道と連携した取り組みを継続していきます。

また、次世代を担う農業者を育成するため、関係機関と連携して

学習の場の提供に努めます。農業後継者のパートナー対策については、農業後継者育成推進協議会が中心となって婚活に意欲のある单身農業者への支援を推進します。

《環境保全と多様性を高める》

農業の推進》

化学肥料の低減やスマート技術などの導入による環境への負荷低減など、環境との調和と生産性の向上が求められています。

引き続き土壌診断や堆肥分析に基づく土づくり、堆肥などの有機物を活用した地域資源循環型のクリーン農業や廃プラスチック対策を支援し、安全・安心で高品質な農畜産物の生産と環境に配慮した取り組みを推進します。

併せて、地域の共同活動として取り組む農村環境・地域資源の保全活動にも引き続き支援します。

《経営基盤の安定強化》

労働力確保支援対策事業やスマート農業推進事業など、労働力の確保に向けた取り組みを支援し、農業生産力を維持するための体制を構築します。

また、生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動の継続、家畜伝染病の発生予防やまん延防止措置を講じるための家畜防疫対

策推進事業、農業者が行う排水不良な農用地の暗きょ、明きょ排水改良に対する小規模土地改良事業などへの支援を行い、持続可能な美深農業の基盤を守ります。

《生産性向上と

魅力ある農業の推進》

「がんばる美深農業！」支援事業により、堆肥を活用した土づくりやスマート農業機器の導入、電気牧柵の設置支援、労働力確保の取り組みなどを引き続き支援します。また、近年増加傾向にある南瓜の連作障害などを回避するため、新たに南瓜輪作支援事業を実施して、土地利用型作物の輪作を支援します。

水稻・畑作については、化学肥料・農薬の低減、生物多様性保全などの取り組みや経営所得安定対策へも継続して支援します。

酪農・畜産については、酪農ヘルパー事業や家畜暑熱対策への支援を継続するとともに、草地畜産基盤整備事業を活用し、良質な粗飼料の確保と自給率向上を図ります。

農業振興センターでは、効果的な土づくり、新たな作物や生産技術の導入、6次産業化の支援を進め、各種農業情報や技術情報を適宜提供できるように、農業関係機関

と連携して取り組みを推進します。

《農用地の有効利用》

農業者の高齢化や担い手の減少により、耕作放棄地の発生が懸念されることから、農地の集約化は喫緊の課題となっています。効率的な土地利用を図るため、農用地利用改善団体による話し合いのもと、農地中間管理機構への利用権設定などを促し、農地の有効活用と遊休農地の発生防止に努めます。

林業の振興

民有林活性化推進事業による支援を柱とした持続的な林産業振興と担い手対策の取り組みを推進します。

美深町森林整備計画に基づき、森林の持つ多面的機能である洪水・土砂流出防止などの公益的機能の発揮を目指すとともに、株式会社SUBARUや株式会社コーセイとの協定に基づく持続的な森林整備に取り組みます。

森林認証を取得した町有林においては、森林管理に欠かせない作業路保全や野そ駆除を行い、認証材の品質向上と利用促進を図り、脱炭素に貢献する森林づくりに取り組みます。

商工業の振興

本町の商工業は、人口減少や消費行動の広域化、物価上昇などさまざまな要因によって厳しい経営環境が続いています。

商工業担い手支援制度の活用により複数の新規開業がある一方、老舗商店の閉店が相次ぎ、中心市街地の空き店舗が増加傾向にあります。商工会と連携して商工業者の経営安定化を図り、各種支援制度の活用、商工会事業への支援や中小企業への資金調達支援、人材確保・育成を推進します。

さらに、快適な住まいづくりと商工業振興事業においては、魅力ある店舗づくりや住宅の新築・改修・解体に対する支援を通じて、建設業の振興と地域経済の活性化を図ります。

また、北洋銀行美深支店跡地を公共駐車場として整備し、周辺商店街への利便性や集客力の向上を図るとともに、路上駐車防止による交通安全対策を推進します。

観光の振興

観光協会を中心に、地域の特性を活かした観光商品づくりを推進し、観光施設の適正な維持管理に

よる観光資源の活用、広域での取り組みによる魅力ある観光を推進します。40回目の節目となる夏秋のふるさとまつり事業など観光協会の各種イベントに対しても、事業運営に必要な支援を行います。

びふかアイランドは、施設・設備の老朽化による維持・補修費用の増加、株式会社美深振興公社における人手不足の顕在化により、国の地域活性化起業者人制度などを活用して経営規模の見直しに関する議論を深め、経営改善に向けた取り組みを進めます。

仁宇布地区の体験型観光「トロッコ王国美深」や白樺樹液春まつりなど、地域資源を活かした取り組みにも必要な支援を継続します。さらに、総合アウトドアカーの株式会社モンベルが展開する「モンベルフレンドタウン」への登録を進め、企業のブランド力を活用して関係人口や交流人口の増加、地域商店街の活性化、地域の魅力発信を図ります。

新たな産業の振興

チョウザメ事業は、北海道大学や水産試験場との連携による飼育試験や研究が進み、飼育環境の改善と飼育技術が向上し、魚肉とキャビアの生産・販売が順調に推移し

ています。しかしながら、現時点では運営費を賄うまでの収入には至っていないため、今後のチョウザメ事業の方向性を明確にし、取り組むべき事項を慎重に精査します。

就労対策・勤労者福祉の充実

就労対策として小規模事業者の雇用経費や研修費用を支援し、雇用の促進を図るとともに、海外人材の受け入れ支援を継続し、事業経営に必要な人材の確保と育成を目指します。

さらに、求職者の就職活動のための職業訓練や資格取得に対する費用助成を引き続き行い、事業所の共済制度への加入促進を支援し、労働者の福祉向上を推進します。



次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち

教育の振興

次代を担う未来ある美深の子どもたちが、生涯にわたり主体的に

学び続け、自らの人生を舵取りする力を身に付けることが重要となっています。そのため、家庭・学校・地域が一体となって「美深の子ども」を育むとともに、町民一人ひとりが芸術・文化やスポーツに親しみ、心豊かで健やかな生活が送れるよう、各世代における学びの場の確保を図り、教育行政の推進に努めます。

幼児教育の充実

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児一人ひとりの特性に応じた質の高い教育保育を推進します。

幼児センターでは、保護者の就業形態に対応した保育サービスを提供し、こどももまんなか社会の実現を図るため、「こども誰でも通園制度」に取り組みます。

学校教育の充実

「知・徳・体」のバランスが取れた教育を展開し、子どもたちの個性や確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育み、ふるさとを想う心や予測困難な社会を生き抜く力を育てる教育活動を推進します。

また、学校をはじめとする教育財産の整備修繕を計画的に実施し、

子どもたちが安全、安心に学習活動を行えるよう、必要な教具、教材を整備し、教育環境の充実に努めます。

本町の特色ある教育として「仁宇布小中学校山村留学」、「英語教育」を推進し、「美深高等学校教育振興協議会」、「美深高等学校校協力会」への支援を通して地道立高校の魅力ある学校づくりを行います。

子育て支援については、幼児センターに子育て支援室を設け、相談支援や未就園児への遊びの場の提供、放課後児童クラブや子ども教室での居場所づくりを努めます。

また、子どもたちのスポーツ・文化活動を「子どもスポーツ文化未来基金」により支援します。

さらに、幼児センターや学校における給食費の保護者負担軽減も継続して取り組みます。

社会教育の充実、芸術・文化の推進

多様な学習機会の提供と充実に努めるとともに、町民の主体的な生涯学習活動の推進を図るため、優れた芸術文化に触れる機会の提供や、文化団体・サークル活動への支援を行います。

また、生涯学習活動の拠点である「文化会館COM100」は、町民が安

心して利用できるよう総合診断業務の結果に基づき計画的な整備修繕を継続して進めます。

スポーツ活動の推進

関係各団体と連携、協力して、各種大会や合宿誘致、FIS(国際スキー連盟)公認エアリアルコースで開催される大会支援に取り組みなど「スポーツによるまちづくり」の推進に努めます。

町民体育館改修工事は、令和9年2月の完成に向けて引き続き取り組みます。工事期間中はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

また、利用者が安心して利用できるよう、体育施設の維持管理に努めるとともに、スキー場索道設備の整備修繕を計画的に取り進めます。



健やかに

安心して

暮らせるまち

健康づくり・医療の充実

町民が健康で安心して生活できるように、健康診断、がん検診、予防接種などを継続して実施します。また、各団体と連携し、健康づくり講演会やヘルスアップ教室などの健康講話により保健・予防活動の充実に努め、健康寿命の延伸を目指します。

各種検診では、未受診者への受診勧奨や特に大腸がん検診後の精密検査の未受診者が多いため、早期治療に結び付くよう精密検査の受診勧奨に重点をおき、重症化予防につなげます。

感染症対策では各種予防接種の助成を継続し、新たに妊婦を対象とするRSワクチンの補助を実施することで、感染症の発症と重症化の予防に努めます。

美深厚生病院は、救急医療や入院治療のほか、特定健診などの予防活動や予防接種業務を担う町内

唯一の医療機関であることから、施設設備や医療機器の更新費用を支援し、医療の充実に努めます。

子育て環境の充実

こども家庭センターを拠点として、安心して子どもを産み育てられる支援体制を整え、妊娠から出産・育児まで切れ目のない支援を実施します。

少子化対策、子育て支援のための新たな事業として、若年層の早期結婚と新生活のスタートを後押しする「家族はぴはぴ応援事業」と、子育て世帯を経済的に支援する「すくすく子育て紙おむつ等購入助成事業」を実施します。

「不妊治療費助成事業」では治療費の一部助成を引き続き実施するとともに、医療機関への交通費助成を拡充します。「妊婦のための支援給付金」では、子育て期の上乗せ給付を新たにを行い、妊娠などの身体的・精神的ケアおよび経済的支援に取り組みます。

乳幼児やひとり親家庭などへの医療費助成では、高校生世代までの医療費無償化を継続し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

高齢者支援の充実

高齢者が住み慣れた町で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援を一体的かつ切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの充実に努め、関係機関や地域と連携したきめ細かな支援体制の構築を進めます。

高齢者一人ひとりが心身ともに健康を維持し、生きがいを持って日常生活が送れるよう、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、フレイル予防を積極的に推進し、社会参加や外出支援、生きがいづくりの取り組みに継続して支援します。

高齢者が安全で安心して生活できる住環境を確保するため、令和8年度から2年間にかけて特別養護老人ホームの移転改築を進め、老朽化が進むケアハウスへの整備支援などを実施します。

本年度は、高齢者保健福祉計画の見直しの年であるため、向こう3年間の計画策定に取り組みます。

障がい者支援の充実

地域で安心して暮らし続けるための支援体制の構築や、誰もが互いに尊重しながら生活する共生社

会の実現が強く求められています。

障がい者やその家族が住み慣れた地域で安心かつ自立した生活を送れるよう相談支援体制や障がい福祉サービスの安定的な提供のため、関係機関と連携して、切れ目のない支援体制を構築するとともに、虐待防止や権利擁護の取り組みを進めます。

本年度は、障がい者福祉計画の見直しの年であり、向こう3年間の計画策定に取り組みます。

地域福祉の充実

少子高齢化や人口減少、世帯構成の多様化が進み、地域における支え合いの重要性は一層高まっています。

関係機関と連携し、見守り活動や支え合い活動に取り組むとともに、複雑化・複合化する課題に対しても適切な支援ができるよう体制づくりを進めます。

社会保障の充実

町民の生活を支え、安心して暮らすための重要な基盤であり、国や道の制度改正や社会情勢の変化を的確に捉えながら、制度の周知、啓発、相談に努め、必要な支援が適切に受けられるような取り組み

を進めます。

《国民健康保険特別会計》

被保険者数、世帯数の減少が見込まれ、医療費・高額療養費の減少により、前年度対比2.2%減の予算を計上しています。

医療費の抑制に向けて、特定健診および特定保健指導の推進による生活習慣の改善、疾病の早期発見・早期治療を促進し、引き続き安定した制度として持続できるように、財政運営責任主体である北海道と連携し、事業の推進に努めます。

《後期高齢者医療保険特別会計》

被保険者保険料と、その保険料の徴収や納付などに係る費用として、前年度対比9.1%増の予算を計上しています。引き続き、保険料の完納と充実した窓口サービスの提供に努めます。

《介護保険特別会計》

第9期介護保険事業計画の最終年となります。住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができ、体制を確保するため、介護給付の適正化と持続可能な介護保険財政の運営に努めます。

第10期介護保険事業計画の策定については、団塊の世代が85歳以

上となる2035年を見据えた将来需要の精査と住民ニーズの把握に注力し、持続可能で安心感のある介護サービスを供給するための体制づくりと適正な保険料水準の両立を図り、誰もが住み慣れた地域で健やかに自分らしく暮らし続けられるよう努めます。



住民参画のまちづくりの推進

町民や企業、団体などと協働して行う地域活動を基本にまちの魅力を一層に創り上げる共創の取り組みを推進します。

町民と町職員が共に企画・研修する「まちづくり自主研修事業」を実施し、町民が自らまちの将来を考え、町民と行政が一体となつてまちづくりを推進する住民参画のまちづくりを目指します。

地域づくりを進めるためには自治会活動の推進が必要不可欠です。地域活動の拠点となるコミュニティセンターを維持し、住民の地域活

動への積極的な参加を促すことで、地域活動をさらに推進します。地域担当員が地域の現状を把握し、活動支援に努めるとともに、自治会の地域計画に基づく活動を支援する「がんばる自治会応援事業」を実施し、安全・安心な地域づくりと活性化を図ります。

職場や地域などのあらゆる分野において、性別に関係なく個々の意欲に応じて活躍できる社会の実現を目指して、男女共同参画に関する継続的な啓発活動を推進します。

情報発信については、町広報誌や防災情報端末機、ホームページ、SNSなどを有効に活用します。地域の課題解決や住民ニーズに応じた施策を実施するため、「まちづくり未来トーク」の開催など、町民からの意見を広く聴く、広聴活動を積極的に推進します。

関係人口の創出

移住定住推進のため、移住フェアやSNSでの情報発信、移住体験住宅貸付事業を継続して実施し、移住体験住宅1棟にMICE環境を整備することで利用者の利便性向上を図り、移住体験者の増加を目指します。また、移住者への住宅

改修支援を引き続き実施します。

地域おこし協力隊については、地域協力活動や定住への支援を継続し、増員に向けて募集の内容や方法を工夫し、地域の活性化を目指します。

さらに、北海道大学との連携協定に基づき、学生実習受け入れを継続し、繋がり強化を図ります。

姉妹町である福岡県添田町との交流事業では、添田町を訪問し地域の特性や文化を学ぶ貴重な機会であるとともに、両町が連携して新たな商品開発に繋がるよう、相互の理解を深める交流事業としていきます。

株式会社SUBARUや群馬県太田市とは、これまで築いてきた文化的・経済的な交流を大切にしながら、継続的な取り組みを推進します。

美深ふるさと会と連携を図りながら、美深町の大応援団である東京美深会・札幌美深会との交流事業を継続します。

行政経営の充実

本町の財政は、人口減少や高齢化によって町税などの財源の大きな伸びが期待できない中、経常経費が増加し、更には一般廃棄物中間処理施設建設や特別養護老人ホ

ム移転改築、町民体育館改修工事など大型事業の実施による支出が続く厳しい状況です。限られた財源で最大の効果が得られるよう、行政改革や行政評価に基づき、確に行政サービスを提供し、近隣自治体との広域連携を進めながら行政の健全な運営に努めます。

自主財源の根幹となる町税は、適正かつ公正な課税に取り組むとともに、上川広域滞納整理機構との連携により収納率の向上に努めます。

ふるさと寄付金事業は、個人からのふるさと納税や企業版ふるさと納税を通じて、全国の方々に美深町に関心を持ってもらえるようにPRし、魅力ある特産品を返礼品として提供できるよう、町内事業者や中間管理事業者と連携して事業展開を図ります。

公共施設の老朽化が進んでいることから計画的な整備に努めるとともに、維持経費の縮減、使用燃料の節減によるCO₂の排出抑制など、環境負荷の軽減対策を進めます。

またOAシステムのネットワーク環境や各種システムを維持するとともに、セキュリティ対策の強化など、安定的かつ効率的に運用できるよう適切な管理運営に努めます。

組織の維持・発展に不可欠な職

員の育成については、新規職員の採用により人員の確保に努めるとともに、定期的な人事異動や職場内外での研修の充実により個々の能力の底上げを図り組織の活性化に努めます。

第6次美深町総合計画

令和3年度～令和12年度

「未来へ続く 笑顔あれるまち 美深」

- 人と自然が調和する快適で安全なまち
- 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち
- 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち
- 健やかに安心して暮らせるまち
- みんなで作る自立したまち

未来へ続く
笑顔あふれるまち

美深

教育行政執行方針



別最適な学びと、協働的な学びの実現としています。

次代を担う美深の子どもたちが自らの夢と未来を切り拓くための「生きる力」と「ふるさとを想う心」や「人を思いやる心」を大切に育む教育の充実に取り組みます。

「人生100年時代」の到来を見据え、町民一人ひとりが心豊かに健やかに潤いのある生活を送ることができるよう「次代を生き抜く力」と豊かな心を育むまち」を基本目標とする第6次美深町総合計画の幼児教育から学校教育、社会教育、芸術・文化、スポーツの5つの分野にわたる教育施策を着実に推進します。

幼児教育の充実

幼児期は生涯にわたる人格形成、義務教育とその後の教育の基礎が培われる重要な時期です。

幼児センターでは、「心も体もたくましい子ども」を教育保育目標とし、体験活動や集団活動をと

おして育みたい資質・能力を育成するとともに、幼児一人ひとりの特性に応じた質の高い教育と保育の推進に努めます。また、小学校への円滑な架け橋ができるよう、幼児と児童の交流の推進に努め、教職員間の連携にも取り組みます。

幼児センターでは、預かり保育や一時保育、時間外保育を継続し、未就園児や子育て世代の交流の場を確保するため「子育て支援室」や「遊びの広場」を開設するとともに「こどもまんなか社会」の実現を図るため「こども誰でも通園制度」にも取り組みます。

その他、子どもたちが安心して屋内外で遊ぶことができるよう幼児センターの適切な維持管理と環境整備を行います。

学校教育の充実

《義務教育》

学校教育目標である「知・徳・体」を基本に、ふるさとを想い、未来に夢と希望をもち、予測困難な時代を生き抜き、たくましく成長できるよう、国が目指す「令和の日本型教育」の構築を目指す学習指導要領による「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力など」、「学びに向かう力・人間性など」

の3つを柱に「何を学ぶか」だけではなく、「何ができるようになるか」を明確化し、主体的・対話的で深い学びを目指す教育活動を着実に推進します。

また、地域とともにある学校づくりを推進するため、学校運営協議会（コミュニティスクール）を通じて、保護者や地域からの声を教育活動に活かした取り組みと地域資源の活用などにより、ふるさと美深への愛着と誇りを持ち、社会に貢献できる次代を担う人材の育成に努めます。

国が教育のICT化に向けて推進するGIGAスクール構想により、昨年更新したタブレット端末の学習では、デジタルの力でリアルな学びを支えるとの基本的な考えに立ち、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて一体的な充実を図ります。

このようにデジタル化に対応した教育を推進するため、教職員の研修を進め、児童生徒が適切に情報活用が出来るよう、情報リテラシー教育を行い、トラブルの未然防止に努めます。

また、教職員の働き方改革を進めるため、デジタル機器などの活用による学校事務の省力化を図ります。

いじめや不登校への対応につい

【はじめに】

人口減少、少子高齢化の進行、混迷の度を増すグローバル情勢、気候変動に伴う自然災害の激甚化、生成AIなどデジタル技術の発展といった大きな変化の中で、今まで以上に予測困難な状況が続いています。

このように激しく変化する社会の中、国の教育施策は教育振興基本計画に基づき「令和の日本型教育」の構築を目指して、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個

ては、いじめに対する積極的な認知と組織的な対応、不登校児童生徒への初期段階からの組織的・計画的な支援に努めるほか、学校における情報共有の徹底と、保護者や関係機関との連携を図り、未然防止、早期対応に取り組みます。

また、北海道教育委員会の協力を得て、スクールカウンセラーを各小中学校の要望に応じて派遣し、相談窓口に関する情報提供に努めます。

山村留学や英語教育をはじめとする特色ある教育活動と魅力ある学校づくりを推進するため、幼小中高養学校合同教育懇談会を定期的に開催し、幼児センターから高校まで校種の枠を超えて連携し、教育の推進を図ります。

特別な教育的支援を必要とする子どもたちについては、障がいの状態に応じた就学活動が行えるよう、特別支援員を配置して支援を行います。

学校給食は、安全第一を基本に美味しい給食の提供と地元産の食材を利用した「ふるさと給食」を通じて食育の推進に取り組むとともに、給食費の保護者負担の軽減を継続して実施しますが、昨今の食材料費の高騰により学校給食費の増額改定を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、

国が進める「学校給食費の抜本的な負担軽減」により、小学校の給食費の実質無償化に取り組みます。

教育環境の整備は、子どもたちが安心・安全に学べる教育環境の充実と、教育活動に必要な教具・教材の配備に努めます。

その他、学校教育施設や教員住宅の適切な維持管理、計画的な修繕による環境整備を行います。

《高等学校教育》

美深高等学校は、小規模校の特性を活かし、進路指導などに対して教職員の手厚い学習サポートが行われ、通信講座や模擬試験などの学習環境の充実、資格取得に対する支援など、魅力ある学校づくりを教職員と生徒が一体となって取り組み、成果を上げています。これらを地域で支えるため、美深高等学校教育振興協議会を通じた魅力ある学校づくりに対する支援と、未来へ羽ばたく生徒の進学を応援する美深高等学校卒業生奨学金制度を継続します。

美深高等養護学校は、道北地域の特別支援教育の中心的な学校として地域に欠かせない大切な学校です。生徒と地域とのつながりや、寮生活による生活面の学習・交流などの優れた面を広めるなど、生徒の社会的自立に向けた取り組み

に対して美深高等養護学校協力会を通して町全体で支援するよう努めます。

社会教育の充実

「人生100年時代」の到来の中、町民が心豊かに生きがいのある暮らしと活力あるまちづくりを推進できるよう、生涯学習活動の拠点である文化会館COM100を中心に、幼児から高齢者までの多様な学習機会の場の提供を行うとともに、文化団体やサークル活動の支援に努めます。

青少年の健全育成では、見守り活動や体験・交流活動の推進を図るため、青少年育成協議会と連携して取り組みます。

次代を担う美深の子どもたちが取り組むさまざまなスポーツや芸術・文化活動に対し、こどもスポーツ文化未来基金による応援サポートを行います。

子どもたちの放課後の安心・安全な居場所づくりと、学習交流活動を推進するため、放課後健全育成事業に取り組みます。

芸術・文化活動の推進

芸術・文化活動は、人々の心に潤いや刺激を与え、心豊かに生き

がいのある生活を送るうえで大切なものです。地域に根ざした活動と人材育成に取り組む文化団体・サークルへの支援や、優れた芸術・文化に触れる機会を提供し、生涯学習活動の成果を披露・発表できる場を提供するとともに、町内外の方々から素晴らしい音響と評価されるCOM100文化ホールを活用した自主事業の開催や、音楽をはじめとする芸術・文化活動に対する支援を行います。

開館から約30年となる文化会館COM100は、施設設備の老朽化が進んでいることから、昨年度実施した施設全体の「総合診断業務」の結果に基づき計画的に整備修繕に取り組みます。

また、町民がふるさと美深の歴史に関心を持ち、学び、後世に伝えていけるよう、まちの歴史資料の収集と保存、展示に努め、歴史や文化の伝承に取り組みます。

スポーツ活動の推進

町民一人ひとりが生涯にわたって自らの健康の保持や体力増進を図るよう、引き続き町民参加の各種大会の開催やスポーツ団体へ支援し、スポーツによるまちづくりを推進するため、町内外のスポーツ関係団体と連携協力して各種大

会の開催、スポーツ合宿の誘致などに取り組むとともに、国内唯一のFIS（国際スキー連盟）公認のエアリアルコースで実施される大会や選手育成の支援に努めます。

また、町民体育館の耐震化対策とアスベスト除去を主体とする改修工事は、令和9年2月完成に向け順調に工事が進んでおり、今年度は主に耐震化工事と屋根の改修を行います。併せて近年の猛暑対策として、国の交付金を活用し、アリーナなど施設全体に冷房機器を設置します。皆さまにはご不便をおかけしますが、工事期間中の代替施設の確保など対応を進めますので、ご理解とご協力をお願いします。

その他、計画的に実施しているスキー場索道設備の補修工事を行うとともに、町民の皆さまをはじめ利用者が快適にスポーツ活動を行えるよう、指定管理者と委託事業者による効率的な管理運営と利用者への利便性の向上を図り、スポーツ施設の適切な維持管理に努めます。

主な事業概要

- 1 人と自然が調和する快適で安全なまち 11～12
- 2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち 13～15
- 3 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち 15～17
- 4 健やかに安心して暮らせるまち 17～19
- 5 みんなでつくる自立したまち 19～20

※ 主な事業および新規事業を中心に説明を記載しています。

1 人と自然が調和する快適で安全なまち

環境保全・環境衛生の推進

- **びふか葬苑等運営事業** 12,482千円
びふか葬苑および美深霊園の管理運営、施設維持管理、火葬炉設備補修、柩運搬車バッテリー更新
- **有害鳥獣捕獲等事業**
 - **有害鳥獣駆除事業補助金** 13,084千円
猟友会への補助、有害鳥獣駆除、アライグマ捕獲用トラップ購入支援、ヒグマ講習会の開催、カラス捕獲用はこわな購入
 - **有害鳥獣処理業務** 9,212千円
町外施設への鳥獣処理業務や一時保管庫維持管理業務を委託
 - **ヒグマ出没情報共有システムによる情報発信** 25千円
- **簡易水道事業会計** 234,958千円
安心して安全な水を供給するための事業運営経費。中央簡易水道配水管や恩根内浄水場機械設備などの更新工事、浄水場や水源など施設維持管理にかかる費用
- **下水道事業会計** 340,618千円
公共下水道事業・個別排水事業に係る下水処理場や施設維持管理などにかかる費用

環境保全・環境衛生の推進

- **循環型社会推進事業**
 - **ごみ収集運搬・リサイクルセンター施設管理業務** 30,357千円
 - **ごみ埋立処分場閉鎖に向けた施設管理業務** 7,919千円
 - **資源再生化事業** 8,928千円
 - **ペットボトル・その他プラ中間処理業務** 3,194千円
広域処理施設（名寄・美深・下川・音威子府）によるペットボトルやプラスチック類中間処理業務を委託
 - **名寄地区衛生施設事務組合負担金**
事務組合が行う広域炭化処理施設やし尿処理施設、広域最終処分場施設の処理および施設の維持管理運営に伴う経費、R9年度供用開始（予定）の一般廃棄物中間処理施設整備費に係る美深町の負担金
 - 炭化処理 28,763千円
 - 埋立処理 10,995千円
 - し尿処理 14,449千円
 - 建設事業 459,573千円
 - **し尿等共同処理施設整備負担金** 1,652千円
し尿等共同処理施設（名寄下水終末処理場）整備に係る美深町の負担金

- 交通ターミナル管理事業
 - ・指定管理者による交通ターミナル管理および運営経費、敷地などの賃借料 6,680千円
 - ・**臨**交通ターミナル施設改修工事 10,700千円
- 地域公共交通運行事業
 - ・フレンドバス車両運行管理業務 9,625千円
 - ・仁宇布線バス路線(デマンド運行)運行補助金 6,187千円
 - ・恩根内線バス路線運行維持事業補助金 10,848千円
 - ・デマンド型乗合タクシー運行业務 732千円
農村部交通空白地域(吉野・斑溪・富岡・西里・紋穂内)における乗合タクシー運行业務を委託
 - ・地域公共交通活性化協議会負担金 35千円
- 橋りょう長寿命化事業(補助事業)
 - ・定期点検(22橋)、修繕設計(3橋) 47,000千円
 - ・修繕工事・単価作成、PCB含有物処分運搬業務(1橋・憩橋) 63,100千円
- 町道施設整備事業
 - ・**新**紋穂内東2号道路側溝整備工事 5,200千円
 - ・町道等舗装補修工事 9,000千円
 - ・区画線補修工事 1,000千円
 - ・道路橋りょう施設維持保全業務委託 18,004千円
 - ・街路樹維持業務委託 520千円
- 道路台帳管理事業
 - ・道路台帳経年変化修正業務委託 1,000千円
- 幹線道路整備事業(交付金事業)
 - ・**新**東3条道路改良事業 295,000千円
 - ・北4丁目道路改良舗装工事 90,000千円
- 住宅地区道路整備事業
 - ・**新**南7丁目仲2通り改良舗装工事 16,000千円
- 除雪対策事業
 - ・**新**雪寒機械購入事業(交付金事業) 62,000千円
除雪トラック(グレーダー装置付)1台更新
 - ・町道等除排雪委託事業 154,458千円

- 公営住宅長寿命化事業(交付金事業)
 - ・新ひまわり団地公営住宅改修工事 35,400千円
- 公営住宅維持管理
 - ・**臨**電気蓄熱暖房機更新 7台 3,000千円
 - ・公営住宅等の維持管理修繕業務委託 6,000千円

- 公園緑地管理事業
 - ・**新**ふれあい公園遊具設置工事・トイレ改修工事 26,996千円
 - ・公園施設指定管理業務 26,080千円
 - ・公園施設修繕 250千円
臨美深公園東屋手すり修繕

- 上川北部消防事務組合負担金 245,650千円
美深消防署および消防団の活動、装備や消防施設の維持、整備にかかる経費、**臨**消防車両更新、消火栓更新
- 防災体制強化事業 1,612千円
加須美峠遭難予防パトロール業務の委託や防災資機材購入(土のう・木杭)、災害用備蓄品購入(飲料水・食品、ベビー用ミルクなど)、**臨**遭難注意看板設置
- 施設保全事業 6,641千円
救急内水排水場操作業務、河川施設保全業務などを委託
- 災害復旧事業
 - ・**新**12線道路法面復旧工事 2,000千円

- 地域安全対策推進事業・交通安全推進事業 2,418千円
防犯・交通安全啓発や交通安全指導員にかかる経費
- 街灯等維持費負担事業 8,087千円
市街地街灯維持費(541灯)と農村地区街灯維持費(182灯)の一部を負担

- 地域情報通信システム運営事業 53,293千円
難視聴地域へのテレビ放送再送信、防災・行政情報などの発信および超高速ブロードバンド通信の提供

- 消費生活相談等事業 311千円
名寄、下川、音威子府、中川、美深の広域による消費者生活の相談業務負担金

2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち

農業の振興

■新規就農者等補助事業 8,554千円

新たに農業を経営する方や農業後継者などの経営が安定・定着するよう支援

■農業次世代人材投資事業 3,375千円

新規就農者に対し、営農開始から経営が安定するまで最長3年間給付金を交付

■地域担い手育成事業

- 地域担い手育成総合支援協議会負担金 528千円
営農指導、担い手の育成・確保対策を推進
- 農業研修生等宿舍管理運営費 361千円
- 農業支援塾運営費 130千円
新規就農者、農業後継者などを対象とした研修に係る運営費

■農業経営金融対策事業 374千円

農業振興資金利子補給金や各種農業制度資金利子補給金

■農業後継者育成事業

- 農業後継者育成奨学金貸付金 516千円
将来、農業経営主となることを志して高等学校または農業大学(短大含む)へ進学する方を対象とした奨学金制度
- 農業後継者育成推進協議会負担金 800千円
農業の担い手育成や農業実習生の受け入れ、配偶者対策などの推進

■土づくり推進事業

- 土づくり推進事業(土壌診断)負担金 295千円
- 堆肥分析事業 69千円

■環境保全型農業直接支援対策事業 8,547千円

農業者が取り組む化学肥料・化学合成農薬の5割低減、地球温暖化や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援

■農業用廃プラスチック等適正処理事業 675千円

農業で排出される廃プラスチック類のリサイクル処理を行う費用の一部を負担

■中山間地域等直接支払事業 5,746千円

急傾斜地など条件不利地への交付金(吉野地区・恩根内地区)

■多面的機能支払事業 29,530千円

農業・農村が有する多面的機能(農地維持、資源向上)の維持・発揮を図るため、地域が共同で取り組む活動に対して支援

農業の振興

■家畜防疫推進事業

- 家畜防疫推進協議会負担金 100千円
家畜伝染病の組織的かつ計画的な防疫対策を推進
- 家畜防疫推進事業補助金 346千円
家畜伝染病対策として実施する各種検査に対する補助

■**臨**フルーツマト糖度センサー更新事業 872千円

選別能力向上に伴う安定出荷、生産者の所得向上を図るため、JA北はるかが保有する糖度センサー更新および選別レーン増設に係る経費を一部補助

■小規模土地改良事業 2,300千円

排水不良な農用地に暗きょ・明きょの排水改良を実施し、農業生産力を増強して経営の安定化を図る

■土地改良区運営補助 5,000千円

農業生産基盤の確保と公益的な排水施設としての防災機能向上を図るため土地改良区に対し、維持管理に要する費用、**臨**水利権更新事業補助

■草地整備事業

- 新**草地畜産基盤整備事業(畜産担い手育成総合整備型)再編整備事業負担金 6,170千円
良質粗飼料の確保と自給飼料の増産を図るため、草地畜産基盤整備事業により飼料生産基盤の整備を行う
- 新**草地畜産基盤整備事業(畜産担い手育成総合整備型)再編整備事業補助金 840千円
草地畜産基盤整備事業を実施した農業者の事業費を一部補助

■畜産振興事業

- 肉用牛経営安定対策事業補助金 2,400千円
肉牛価格安定基金に加入する肉牛農家の生産者負担経費を一部補助

■農業振興センター管理運営事業 17,801千円

畑作試験展示圃関連事業の運営や農畜産加工研究、農業情報の提供、**臨**受電設備、備品(蒸し器・農業気象観測器など)の更新に係る経費

農業の振興

■がんばる美深農業支援事業

- **【新】南瓜輪作支援事業** 12,500千円
連作障害の回避・改善策として輪作を推奨し、農業所得の向上を図る
- **土づくり促進事業** 2,200千円
「土づくり」を推進するため、土壌診断を行うとともに、斑溪堆肥場の完熟堆肥を活用する農業者を支援
- **新規就農者支援事業** 1,000千円
新規就農者が安心して生産できる環境整備を推進し、早期の経営安定化を図る
- **チャレンジ支援事業** 3,000千円
新しい生産技術や作物の導入、先進的な機械などの導入など、意欲ある取り組みを支援
- **スマート農業推進事業** 2,000千円
新たな技術を活用した機械などの導入により、農業技術の向上や作業の省力化を図るための取り組みを支援
- **畜産支援事業** 1,000千円
肉牛農家の生産性向上や安定化に向けた繁殖にかかる取り組みを支援
- **電気牧柵支援事業** 2,000千円
エゾシカなどによる農作物被害防止のため、電気牧柵新設に対して支援
- **ハウス支援事業** 1,100千円
施設野菜の安定生産確保と農業所得の向上を図るため、ハウス新設に対して支援
- **労働力確保支援対策事業** 7,700千円
人材派遣会社を利用して労働力確保への取り組み、南瓜収穫作業の外部委託に係る経費を支援

■農畜産物等販路拡大PR事業 2,100千円

■経営所得安定対策直接支払事業 2,517千円
経営所得安定対策等推進事業の円滑な事業推進を行うための推進事務費補助■酪農振興事業 7,385千円
酪農ヘルパー事業(3人)、酪農ヘルパー確保対策(新規1人)、乳牛検定事業に対し支援■家畜暑熱対策支援事業 2,000千円
夏の高温による生育被害などに対する暑熱対策の経費を一部支援し、生育被害などの軽減および所得向上を図る■農地集積事業 1,099千円
営農集団(農用地改善団体)が実施する農用地利用改善事業交付金

林業の振興

■町有林造林保育事業

- **【臨】二酸化炭素吸収量検証業務委託** 2,000千円
Jクレジットを発行するための検証審査に係る経費
- **町有林造林・保育工事** 19,327千円

林業の振興

■民有林造林保育事業・労働環境改善事業・林道網整備事業・林業経営強化事業

- **【新】林業施設等整備事業(補助事業)** 87,837千円
移動式チップパー機、油圧ショベル、木材グループ導入
- **美深町民有林活性化推進事業補助金** 13,502千円

■労働環境改善事業

- **森林整備担い手対策推進事業** 320千円

■緑化推進事業

- **700千円**
植樹祭や紙門松の全町配布などを実施する緑化推進委員会に対する負担金

商工業の振興

■商工業活動支援事業

- **【新】公共駐車場整備事業** 14,200千円
- **商工会事業補助金** 16,576千円

■中小企業支援事業

- **中小企業融資保証料等補給事業** 4,000千円
- **商工業従業員退職金共済加入奨励補助金** 370千円

■交流施設運営事業

- **旭町ふれあいステーション休憩所及び駅前通り公共駐車場管理委託** 1,897千円

■快適な住まいづくりと商工業振興事業

- **21,800千円**
快適な住まいづくりと商工業の魅力ある店舗づくりを支援することにより、住環境の整備、移住定住の促進および子育て世帯を支援し、地域経済の活性化と環境にやさしい地域社会の形成に資する

■商工業担い手支援事業

- **11,131千円**
町内で商工業を営み、経営規模拡大に取り組む者および新たに商工業を経営する者に対して支援することにより、経営の安定と定着技術者確保と後継者育成を図り、商工業振興を推進する

観光の振興

■観光推進体制支援事業

- **観光協会事業補助金** 32,148千円

■観光PRとイベント支援事業・魅力ある観光地づくり推進事業

- **【新】モンベルフレンドタウン登録事業** 924千円
- **【臨】ダウン・ザ・テッシン・オーベツ事業交付金** 200千円
- **美深駅乗車券類販売業務委託** 8,028千円
- **イベント参加支援補助金** 1,140千円
- **道北着地型観光プロモーション推進協議会補助金** 250千円
- **仁宇布観光推進事業補助金** 1,648千円

2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち

観光の振興

- 観光施設運営事業
 - 新 物産展示館観光キャラクターベンチ設置工事 1,490千円
美深くん・美深ちゃんをモチーフにした石造のベンチを設置し、写真スポットとして集客を図る
 - 陶 物産展示館屋上防水シート修繕、観光案内看板改修工事、合併処理浄化槽補修工事 3,539千円
 - 物産展示館「双子座館」(道の駅)の指定管理 11,226千円
 - 陶 びふかアイランドコテージ補修工事 8,200千円
 - 森林公園びふかアイランドの指定管理 95,325千円
 - 陶 函岳山頂標柱修繕 204千円

新たな産業の振興

- チョウザメ振興事業 41,912千円
チョウザメの本格的な産業化に向けた事業を推進するため、チョウザメのふ化飼育・管理、飼育研究施設に係る経費

就労対策・勤労者福祉の充実

- 就労活動支援事業
 - 移住就業支援金 1,000千円
東京圏から移住し、対象となる事業所へ就職した方に支援金を支給
 - 求職者就業訓練支援事業補助金 165千円
求職者の就職活動のための職業訓練受講や資格・検定試験を受験する方に対し助成を行い、就職に必要な技術の習得を図る
 - 上川北部地域人材開発センター運営協会負担金 123千円
 - 名寄地区通年雇用促進協議会負担金 100千円
- 海外人材受入推進事業 2,452千円
労働力を確保するため海外人材の受入を推進する
- 労働者福祉支援事業
 - 連合美深地区連合会補助金 300千円
 - 勤労者福祉資金融資預託金 5,000千円
生活資金や住宅資金などの借入原資を労働金庫に預託し、労働者が必要に応じて利用できるよう福祉資金制度を維持

3 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち

幼児教育の充実

- 幼児センター運営事業 82,802千円
幼児教育・保育の充実を図るための職員人件費や施設維持管理、給食の食材費など幼児センターの運営に係る経費
- 子育て支援事業 1,074千円
未就園児への遊び場などの提供や一時保育、預かり保育、新規事業として乳児等通園支援事業など保護者支援を実施するための経費

学校教育の充実

- 山村留学推進事業 6,573千円
ホスターホームの管理運営や親子留学に対し支援するための経費を負担
- 青少年教育交流事業 1,200千円
姉妹町添田町との生活・文化を体験する青少年の交流事業に対する経費を負担(添田町へ訪問)
- 児童生徒就学支援事業 3,620千円
就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品や修学旅行費などの費用を支援

学校教育の充実

- 英語教育推進事業
 - 語学指導助手配置 12,222千円
英語のコミュニケーション能力を養うため、外国語指導助手(ALT)の2人体制及び、英語授業における補助を担う英語指導助手(1人)の配置を継続
 - 英語教育推進負担金 400千円
- 教育活動・研究推進事業
 - 教育推進交付金 826千円
小中学校の総合的な学習の推進、漢字検定による学力向上対策
 - 美深町教育研究会負担金 500千円
 - 美深町教育研究・研修推進事業交付金 1,070千円
- スクールバス運行事業 26,525千円
4路線(斑溪吉野線、玉川線、恩根内美中線、楠清水線)の運行業務を委託
- 学校給食運営事業 70,724千円
食材料費、光熱水費、配送委託料、厨房備品更新などの学校給食運営に係る経費
- 教育環境整備事業
 - 教育環境整備事業 2,704千円
教師用パソコン整備
 - 児童生徒図書購入 900千円

- 学校運営協議会事業** 378千円
 学校運営に地域の声を生かし、一体となって学校づくりを推進
- 特別支援教育推進事業**
 - ・特別支援教育支援員配置** 4,648千円
 支援員4人を各小中学校へ配置
 - ・特別支援教育推進交付金** 244千円
 特別支援教育担当職員の研修や児童生徒の学習活動費
 - ・特別支援連携協議会負担金** 80千円
 特別な教育的支援を必要とする児童生徒などの就学支援を行う協議会の経費
 - ・教育支援委員会負担金** 10千円
 支援が必要な児童生徒の教育相談や就学指導を行う委員会の経費
- 高等学校教育推進事業**
 - ・美深高等学校教育振興協議会負担金** 8,580千円
 通信進学講座、資格取得、学力テスト、参考図書購入などの支援および下宿料や通学費、学校PR事業に係る費用を助成
 - ・美深高等学校卒業生奨学金** 10,680千円
 美深高校を卒業し進学する生徒に対する返済不要の奨学金制度
 - ・美深高等養護学校協力会補助金** 1,878千円
 学校PR、学校行事活動支援などの費用や、生徒が作成する出生祝品や幼児布製品寄贈事業に助成
- 教員住宅整備事業** 9,100千円
 美深中学校教員住宅屋根外壁塗装などを実施
- 新ホスターホーム改修事業** 12,500千円
 エア・ウォーター北海道「ふるさと応援H（英知）プログラム」採択事業として仁宇布ホスターホームの外壁、避難階段補修などを実施
- 新美深小学校外壁・屋上補修事業** 15,290千円
- 家庭・地域教育推進事業**
 - ・親子ふれあい事業** 61千円
 親子ふれあい講座の開催
 - ・地域支援事業交付金** 300千円
 地域人材活用による学校教育への協力、支援

- 放課後健全育成事業**
 - ・児童館事業** 7,604千円
 児童厚生員による児童・生徒の学習、遊びの場を提供
 - ・放課後子ども教室(COM100)** 3,824千円
 教育活動推進員配置(2人)による放課後における児童・生徒の学習・遊びの場の提供
 - ・放課後児童クラブ(児童館)** 381千円
 放課後児童指導員配置(1人)による児童・生徒の放課後の居場所を提供
- 生涯学習環境事業**
 - ・COMカレッジ110美深大学** 546千円
 合同学習会、各校の研修会に対する交付金ほか
 - ・生涯学習講演会** 100千円
 - ・高等学校開放講座(7講座)** 70千円
 公立高等学校の設備教育機能などを生かした学習機会の提供、地域と高等学校の相互理解を深めるため実施
 - ・公民館講座、女性学級講師謝金** 57千円
 - ・町民文化祭事業負担金** 250千円
 - ・二十歳の集い、新年交礼会** 282千円
 - ・文化団体補助金** 900千円
- 図書室運営事業** 2,574千円
 COM100図書室の図書購入や読書スタンプラリーなどを実施
- 青少年健全育成事業** 1,200千円
 青少年の健全育成事業に対する青少年育成協議会への負担金、青少年自然体験事業の開催
- 芸術・文化活動事業**
 - ・新COM100電気室コンデンサPCB濃度分析調査業務委託** 363千円
 - ・北海道巡回小劇場負担金(美深小学校開催)** 200千円
 芸術文化を理解し、大切にすることを目的に、舞台芸術を鑑賞する機会を提供
 - ・COM100文化ホール自主事業実行委員会補助金** 9,000千円
 - ・COM100文化ホール助成事業** 1,000千円
- 郷土資料保存事業** 220千円
 伝承遊学館開設や郷土資料調査委託などに係る経費

3 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち

スポーツ活動の推進

- **スポーツ振興事業**
 - 町民大運動会負担金 470千円
 - 各種スポーツ教室謝金 100千円
 - スポーツ合宿等支援交付金 615千円
スポーツ合宿などの誘致・支援、大学相互協力協定事業
 - 各種大会等開催及び参加補助金 260千円
全日本・北海道フリースタイルスキーエアリアル選手権大会補助金ほか
- **スポーツ団体育成事業**
 - 町スポーツ協会補助金 1,359千円
加盟10団体、スポーツ少年団8団体に対し補助
- **こどもスポーツ文化未来基金事業**
 - 町こどもスポーツ文化未来基金負担金 3,000千円
青少年のスポーツ活動(大会、合宿など)を支援する経費の助成

スポーツ活動の推進

- **体育施設運営事業**
 - 美深町民体育館改修工事・監理業務委託 571,750千円
耐震改修、屋根改修、アスベスト除去など、令和7年度に引き続き実施する町民体育館の工事および管理監督業務委託に係る経費
 - 体育施設指定管理料(7施設) 51,957千円
 - **北町ゲートボール場日除けシェルター設置工事** 594千円
 - **美深スキー場索道施設補修工事** 5,610千円
 - **美深スキー場受電設備改修工事** 3,200千円
 - **美深スキー場圧雪車修繕** 4,896千円
 - スキー場管理委託料 15,699千円

4 健やかに安心して暮らせるまち

健康づくり・医療の充実

- **健康づくりの推進**
 - 健康管理システムの活用・改修 2,558千円
 - 自主組織団体(食生活改善協議会、保健推進員協議会)への支援 170千円
 - 健康増進事業(健康づくり講演会、ヘルスアップ事業) 224千円
 - 指定難病患者等通院交通費助成金 623千円
- **各種検診・予防保健事業**
 - 各種健診業務 6,888千円
基本健診(20歳～39歳)、後期高齢者健診(75歳以上)、各種がん検診などの業務を委託
 - 予防接種業務 11,405千円
定期予防接種および任意予防接種の業務を委託
- **地域医療・福祉体制整備事業**
 - 保健師等養成修学資金等貸付金 4,560千円
保健師・看護師などの人材確保を目的とした修学資金や就業一時金の貸し付けを実施
 - 救急医療啓発普及事業負担金 345千円
上川北部地域における第1次救急医療体制の確保および住民に対する救急医療知識の普及啓発などを目的に8市町村で費用を負担
 - 広域第2次救急医療事業負担金 2,737千円
北・北海道中央圏域(2市9町2村)において、名寄市立総合病院および市立土別病院に対する費用を負担

健康づくり・医療の充実

- **美深厚生病院運営支援事業**
 - 美深厚生病院運営支援補助金 330,900千円
地域医療の確保を図るため、運営費を補助
 - 美深厚生病院医療機器等整備事業補助金 17,552千円
■ **心電計、血圧脈波検査装置、オージオメーター、検査室系統冷房設備の更新費用を補助**
 - 美深地域訪問看護ステーション運営補助金 6,305千円
地域で安心して在宅療養や在宅介護が継続できる体制確保と、住民の在宅ケアの推進を図るための運営費を美深、音威子府、中川で補助

子育て環境の充実

- **母子保健対策事業**
 - 未熟児養育医療扶助費 360千円
 - 母子健診事業 2,320千円
妊産婦一般健康診査、産後ケア事業、乳幼児健診など母子検診を行う
 - 子育て総合支援事業 18千円
子育てを支援する環境づくりとして、育児サークルへの支援および絵本の配布などを行う

子育て環境の充実

■子どもを産み育てるための経済支援事業

- ・ **新**すくすく子育て紙おむつ等購入事業助成金 972千円

乳幼児期に安心して子育てができるよう満2歳に達する月までの乳幼児を対象として経済的な負担軽減を目的に支援を行う

- ・ **新**家族はぴはぴ応援事業補助金 6,250千円
若い世代への早期結婚支援と少子化対策として、婚姻に伴う新生活開始への経済的支援を行う
- ・ 不妊治療費助成事業補助金 464千円
保険適用分治療費や先進医療治療費、治療に係る医療機関への交通費の一部を助成し、不妊治療患者の負担を支援する

■出産子育て応援事業

- ・ 妊婦のための支援給付金 1,500千円
妊娠期からの切れ目ない支援を行う観点から妊婦などの身体的、精神的ケアおよび経済的支援を行う

■児童手当支給事業 49,670千円

国の定めに基づき、高校生年代までの子を養育する方を対象に児童手当を支給

■医療費助成事業

- ・ 乳幼児等医療扶助 9,600千円
高校生までを対象に保険適用医療費の自己負担分の一部を支援
- ・ ひとり親家庭等医療扶助 1,100千円
母子・父子家庭および両親のいない家庭で、対象の方に保険適用医療費の自己負担分の一部を支援

■障がい児母子通園療育指導訓練事業

- 1,371千円
障がいや発達の遅れなどが心配される幼児および児童を対象に、早期療育訓練の場を設けるとともに、障がい児のサービス利用計画作成費用を負担

高齢者支援の充実

■高齢者活動支援事業

- ・ シルバー人材センター運営補助金 2,150千円
- ・ 敬老祝品 2,753千円
- ・ 敬老会補助金 2,213千円
- ・ 高齢者温泉利用負担金 1,400千円
- ・ 高齢者バス料金助成事業負担金 4,000千円
- ・ 老人クラブ運営補助金 702千円

■ほっとプラザ☆スマイル運営事業

- 22,168千円
ほっとプラザ☆スマイルを運営するための指定管理料

高齢者支援の充実

■高齢者等安心確保事業 5,628千円

病気や障がいにより公共の交通機関を利用することが困難な方へ通院などに要するハイヤー料金の一部を負担。また、人工透析治療を受けている方へ通院費用の一部を負担

■高齢者介護サービス事業者運営事業

- ・ デイサービスセンター(やすらぎ)運営補助金 11,360千円
- ・ 訪問介護事業補助金 9,320千円
- ・ 老人福祉施設措置費 3,500千円

■高齢者等生活支援事業

- ・ 外出支援サービス事業委託料 782千円
- ・ 除雪サービス事業委託料 8,470千円
- ・ 要介護者等生活支援短期宿泊事業委託料 188千円
- ・ 要介護者等入浴サービス事業委託料 100千円

■**新**特別養護老人ホーム改修事業

- ・ 特別養護老人ホーム建設事業補助金 544,991千円

施設本体や設備の老朽化、浸水想定区域からの移転のため、社会福祉法人美深福祉会が進める移転新築を支援

- ・ 特別養護老人ホームアスベスト調査業務委託 3,245千円

旧建物解体に向け実施する、アスベストを含む建材使用の有無を調査するための経費

■**新**老人福祉施設改修事業 9,000千円

入居者の良好な生活環境維持のため、老朽化が進む社会福祉法人臨生会が運営するケアハウスの改修を支援

■介護保険運営事業 676,488千円

40歳以上の方が加入する介護保険事業の運営経費や、介護予防・生活支援サービス事業、地域包括支援センターの運営、法人などが行う訪問・通所介護や短期入所などを利用する低所得者への補助などを実施

■障がい者福祉・医療体制充実事業

- ・ 障がい者介護給付費 119,265千円
- ・ 障がい者療養介護医療費 3,060千円
- ・ 障がい者自立支援医療費 2,580千円
- ・ 障がい者(児)補装具費 690千円

■重度心身障がい者医療給付事業 8,490千円

身体障がい者(1~2、3級の一部)や知的障がい者(重度)の方の医療機関への入院または通院に係る保険適用医療費の自己負担分の一部を給付

障がい者支援の充実

4 健やかに安心して暮らせるまち

障がい者支援の充実

- 障がい者訓練等給付・地域生活支援事業
・障がい者訓練等給付費 152,270千円
グループホームや自立訓練、就労継続支援、児童発達支援などを利用するための給付
- ・地域生活支援事業委託料 3,161千円
地域活動支援センターや相談支援事業、日中一時支援事業などに係る業務を委託
- ・障がい者等日常生活用具給付費 2,690千円
ストマ用装具、住宅改修、入浴補助用具など自己負担の一部を給付

地域福祉の充実

- 地域福祉推進事業 2,031千円
社会福祉協議会が中心となって実施する住民自治福祉大会、福祉活動振興などの事業実施、ボランティア活動推進事業、ふれあい広場開催事業などに対し補助
- 地域福祉推進体制確保事業
・社会福祉協議会運営補助金 13,920千円
・民生委員協議会負担金 327千円

社会保障の充実

- 国民健康保険運営事業 615,249千円
病気やケガをしたときに経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるための相互扶助制度。また、保健事業として40歳から74歳の方を対象に特定健診・特定保健指導を実施
- 後期高齢者医療制度負担事業 192,762千円
75歳以上の方が加入する保険制度。本町は保険料の徴収、各種申請や届出の受付などの窓口業務を担い、広域連合では保険料の賦課、医療給付費の支払いなどを行う

5 みんなでつくる自立したまち

住民参画のまちづくりの推進

- 地域人材育成事業
・まちづくり自主研修事業補助金 1,000千円
町民と町職員がまちづくりのために自ら企画して実施する研修費用を支援
- 新しいまちづくりサービスの推進 1,350千円
ニューパブリック協議会が実施する高齢者や就学前の子どもがいる世帯、障がい者がいる世帯などに対して、買い物支援のための宅配サービスを実施
- 道知事議会議員選挙 2,534千円
- 自治会活動推進事業
・コミュニティセンター等指定管理料(全15施設) 13,843千円
・自治会活動推進交付金 5,180千円
地域での自主的なコミュニティ活動を推進するための活動交付金
- ・がんばる自治会応援事業交付金 1,000千円
・**臨**地域集会施設補修工事 12,000千円
- 地域活動活性化促進事業 1,000千円
民間の活動を助長し、活力あるまちづくりを促進(特産品研究開発事業、まちおこし創出事業、住民活動促進事業)に取り組む個人・法人・団体に対し支援

住民参画のまちづくりの推進

- 広報・広聴活動事業
・広報・広聴活動 4,570千円
町の情報を町民の皆さんにわかりやすく提供するための広報の発行のほか、まちづくり懇談会や施設見学会、町長への手紙など町民の声を聴くための広聴活動を行う
- ・まちづくり未来トーク事業 15千円
町内の子どもを対象に町長との対話を実施

関係人口の創出

- 移住定住推進対策事業 1,000千円
移住体験住宅3棟を活用した暮らし体験や移住交流イベントへの参加を通じて、移住の促進を図る。【臨】定住推進住宅(敷島)にWi-Fi整備を設置
- 地域支援対策事業 38,476千円
集落支援員、地域おこし協力隊の活動経費および地域活性化起業人派遣にかかる負担金
- 地域交流活動推進事業 3,633千円
地域の発展に資するため、他市町村や団体などとの経済的・文化的交流による地域の活性化を図る(SUBARU美深会事業、群馬県太田市交流事業、姉妹町添田町親善交流事業)
- ふるさと交流事業
 - ・ふるさと運動推進交付金(東京・札幌美深会) 687千円
 - ・ふるさと交流活動費 437千円
都市部の美深町出身者などを通じたまちの情報発信、交流活動
- 産学官連携活性化事業 3,000千円
北海道大学水産学部と連携し、チョウザメ事業やまちづくりの推進を図る

行政経営の充実

- OAシステム管理運営事業 73,406千円
職員用パソコン・総合行政システムの借り上げや保守およびデータのバックアップ業務の委託と行政システムの標準化・共通化移行関連システム改修業務などに係る経費
- 【新】土地基盤情報整備事業 1,221千円
地籍成果管理システム機器の更新業務に係る経費
- 総合計画進行管理・行政評価事業 435千円
行政評価町民委員会、まちづくり推進町民会議開催経費
- 適正な課税と公平な徴収の推進
 - ・【臨】町税課税収納システム改修業務委託料 5,087千円
税制改正に対応するためのシステム改修
 - ・上川広域滞納整理機構負担金 1,639千円
特別な事情がないにも関わらず町税などを滞納している方を対象に広域滞納整理機構に引継ぎ、機構は町に代わり差押え(不動産、給与、預貯金など)や公売などの強制的な滞納整理を実施
- ふるさと納税推進事業 48,440千円
まちづくり応援寄付金の寄付額に応じた特産品返礼に係る経費

行政経営の充実

- 企業版ふるさと納税推進事業 660千円
企業版まちづくり応援寄付金の募集経費
- 職員研修事業 4,349千円
研修の実施により、職員個々の政策形成能力などの向上を図る
- 町有財産管理事業 4,905千円
町有施設の煙突内アスベスト断熱材の劣化状況点検およびアスベストの気中飛散測定のほか、点検口修繕、町長室冷房設備設置工事、雑草刈機購入費用
- 公共施設照明LED化事業 17,713千円
対象39施設の照明をLEDに交換し、省エネルギー化とCO2排出抑制を図る